

海馬体における空間情報処理のメカニズム

講師：北西卓磨 准教授
東京大学大学院総合文化研究科
先進科学研究機構



日時：2026年1月26日(月) 17:00～
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOM配信は行いません。会場までお越しください。

「いま自分がどこにいるのか」という空間認識は、動物の生存に重要な脳機能です。海馬や嗅内野には、場所細胞や格子細胞など空間を表現する神経細胞が多く存在し、これらの細胞群が空間認識の基盤だと考えられています。しかし、こうした空間情報がどのような回路メカニズムで生成され、また、生成された情報がどのように他領域に伝達されるかは良く分かっていません。本セミナーでは、こうした課題に対する私たちの取り組みを紹介します。なかでも、海馬の出力層にあたる海馬台が、さまざまな空間情報を下流領域に分配するハブとして働くことを示した一連の研究を紹介します。

参考文献

- Nakai, Kitanishi, Mizuseki, Sci Adv, 2024
- Kitanishi, Umaba, Mizuseki, Sci Adv, 2021
- Kitanishi et al., Neuron, 2015

世話人：野村洋（医学研究科・認知機能病態学寄附講座）

TEL: 052-853-8381, E-mail: hnomura@med.nagoya-cu.ac.jp

本セミナーは名古屋市立大学医学会の後援で開催されます。